

令和5年度版
坂戸市
環境教育プログラム



坂 戸 市
坂戸市教育委員会

1 坂戸市が目指す環境教育

1-1 小・中学校における環境教育

次世代へ住みよい地球環境を残すためには、子どもたちから環境問題を正しく認識し、環境を保全しようとする心と行動を育成することが課題です。

こうした中、平成15年10月に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が施行され、その後改正を行い、学校における環境教育を充実させる内容等を盛り込んだ「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」が、平成24年10月1日から完全施行されました。

環境教育の果たす役割は、更に大きくなっていることから、プログラムの充実と活用により、児童・生徒が環境の大切さを実感し、実践する力が育つよう、学校・教育委員会・行政（環境部門）が連携し、環境教育の推進に努めます。

1-2 学校における環境教育の進め方

(1) 環境教育の展開の視点

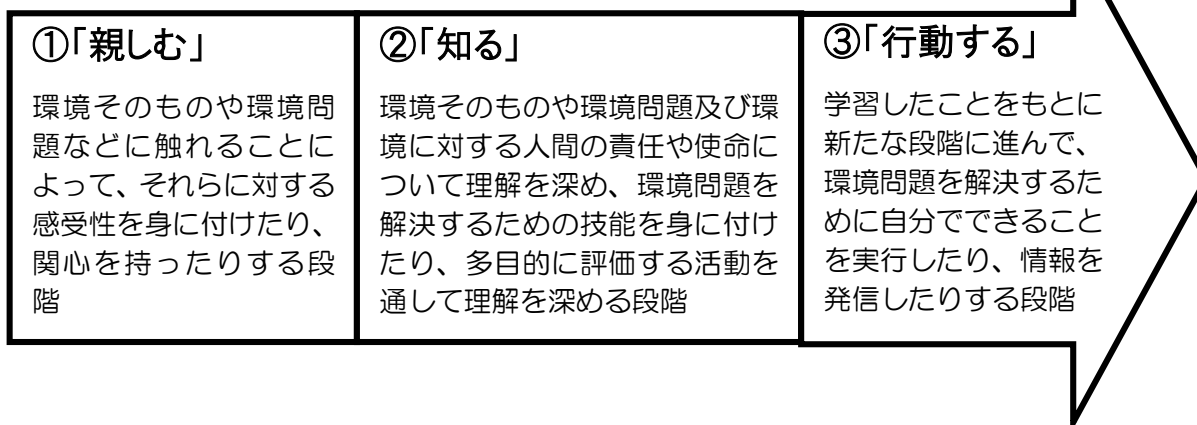
環境教育は、総合的・横断的な特色を持っていることから、学校や地域の実態等に応じ、主体的な学習が期待されています。実施にあたっては、「各教科」、「特別活動」、「総合的な学習の時間」などのねらいと内容を次の3つの視点から検討するとよいでしょう。これらの視点を一単位時間の授業や一単元に全て盛り込むのではなく、児童・生徒の実態や、学年、教科等の特性などから、教育課程全体を見通すことが必要です。

環境から学ぶ (from)	豊かな自然や身近な地域社会の中で、様々な活動を通して、自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を培う。
環境について学ぶ (about)	環境や自然と人間とのかかわり、さらには、環境問題と社会経済システムのあり方や生活様式とのかかわりについて、理解を深める。
環境のために学ぶ (for)	環境保全や環境の創造を具体的に実践する態度を身に付ける。



(2) 環境教育の3つのステップ

環境教育をある程度まとまった時間で実施する場合は、「親しむ」・「知る」・「行動する」、この3つのステップを順に踏むことで、より環境に対する理解と実践的な行動力を育てることができます。



1-3 家庭や地域と連携した環境教育

環境教育で学んだことを実践し、生活の中の環境学習に関する情報を得るためには、子どもたちの生活の場である家庭や地域社会との連携が欠かせません。

子どもは家庭の中で、基本的な生活習慣や身近な自然とのふれあいなど、さまざまな体験を通して社会性を身に付けていきます。

また、地域社会には、年齢、職業、価値観の異なった人々が日常生活を営みながら、同時に自治会や子ども会といった共通の目的を持ったグループを構成しており、地域を住みよくするためにごみや資源物の回収を行い、祭りなどの伝統行事、道路や公園の美化活動などを集団で実施しています。

つまり、家庭や地域は子どもたちの環境に配慮した行動の実践の場であり、自然環境や社会環境・伝統文化を学ぶ場そのものです。

さらに、幼稚園・保育園・学校からみると、子どもたちが環境教育で学んだことを積極的に発信していく場としても重要です。このことは、家庭や地域の人々から学校等への信頼が得られると同時に、市民一人一人の意識を改革し、循環・共生・参加型社会を築いていく上で大切なことです。

2 環境教育プログラム

2-1 学校・教育委員会(学校教育課)・市(環境学館いずみ)の役割

(1) 学校の役割

学校では、環境教育の重要性を考慮し、環境教育の一層の推進を図るため、環境教育プログラムを積極的に年間指導計画に位置付け、授業において環境プログラムを利用することに努めます。



【指導上の留意点】

指導者が環境教育の重要性と意義や方向性を理解し、それぞれの教科・領域での指導内容を環境教育の視点で見直し、積極的な活用をすることが望まれます。

環境教育のねらいの一つは、児童・生徒が環境とのかかわりを理解し、環境に配慮した行動を実践する態度の育成です。このことを実践するためには、内容を単なる知識として「教える」のではなく、主体的で体験的な学習を通して「実感を伴う理解をさせること」が重要です。

(2) 教育委員会(学校教育課)の役割

教育委員会は、市内小中学校における環境教育推進のための指導や助言、市と協力した環境教育に関する教員への研修を行います。あわせて、学校と市の調整を行い、学校現場での環境教育の円滑な実施に努めます。

市内小中学校における環境教育の実施状況及び授業の成果について評価を行い、環境政策課と連携を図りながらプログラム内容の見直しなどを適宜行い、より充実したプログラムづくりに努めます。

(3) 市(環境学館いずみ)の役割

環境学館いずみが環境教育の窓口となり、学校教育課と連携を図りながら、学校現場における環境教育の推進と充実を図るため、積極的な支援と情報提供に努めます。

環境学館いずみの活用を図るため、プログラムの充実に努めるとともに、環境教育にかかる教材の提供及び講師の派遣を行います。(環境学館いずみが担当するプログラムについては、いずみ運営ボランティアによる協力体制を整え実施します。)

教育委員会と協力し、教員やPTAに対し、環境教育の研修を実施します。また、学校現場の意見を参考に、教育委員会と協力し、環境教育の評価・分析及びプログラムの見直しなど必要な対応を行います。



2-2 環境教育プログラムの活用方法

(1) 特徴

① 坂戸市オリジナルのプログラム

このプログラムは、小学校1年生から6年生を主な対象として、生活科、総合的な学習の時間・社会科及び理科の授業での活用を目的に、学校の先生、教育委員会及び市環境部（当時）職員が共同で策定し、平成16年度から実施している坂戸市オリジナルのプログラムです。

② 学年・教科等に応じた自由なプログラムの選択

プログラムは、大きく「理科系」と「社会科系」にまとめました(P8)ので、それぞれの教科・領域、時間などを十分踏まえたうえで、学習のねらいや対象年齢などから、適当なプログラムを選択し、必要に応じてアレンジして活用してください。また、参考として学校での関連教科の単元も掲載しています。

③ 環境学館いずみを活用した環境教育

プログラムは、環境学館いずみの活用を中心としたものですが、必要に応じて、学校への出前も行います。また、環境政策課やいずみの職員が指導者となりプログラムを行います。その他、教材の提供や支援等について、学校現場で活用しやすいよう配慮しています。



(2) 環境教育の窓口等

① 環境教育に関する窓口

課 名	電 話	内 容
環境学館いずみ	284-7115	環境教育プログラムの申込窓口・相談 施設の利用、情報提供、教材の提供及び貸出し
学校教育課 (教育センター)	283-1331 (281-2736)	環境教育推進の指導、助言、相談、学校と市の調整

② 環境に関する相談窓口

課 名	電 話	業 務 内 容
環境政策課	283-1331	環境全般、地球温暖化、再生可能・省エネルギー、 緑化推進、放射線、公害、環境調査、不法投棄、 鳥獣保護及び管理
環境学館いずみ	284-7115	展示、講座、こどもエコクラブ、図書、情報
廃棄物対策課	283-1331	ごみの減量・分別・リサイクル

(3) 授業実施までのフロー

環境教育に関する指導計画作成及び校内調整
日程・授業内容・実施場所・バスの利用等



※注意：市との事前協議は、1か月前までをお願いします！

事前協議（環境学館いずみへ電話）
日程・授業内容・実施場所・バスの利用等
※TEL 284-7115



環境学館いずみにて担当課（外部講師）と調整
日程・授業内容等内部調整を行い、再度学校
へ連絡します。



申込：環境学館いずみへ申込書【P24】を提出
学校長名で申込み、押印不要、FAX可



環境教育プログラムによる授業実施



授業の報告
報告内容：授業の評価・改善点・要望
報告方法：実施報告書【P25】を環境学館いずみへ提出
※FAX又はメール可

バスの利用

環境学館いずみなどへの
交通手段として、予算の範
囲内で借り上げバスを用
意しますので、ご相談くだ
さい。



…学校側の手続き等

(4)プログラム実施の様子

「ごみについて学ぼう！」



「環境って何？（環境問題入門）」



「生き物自然観察」



「エネルギーと環境問題」(坂戸ガス株)



1 時間目

天然ガスの基礎知識と液体窒素（ -196°C ）を用いた冷熱実験を体験します。

2 時間目

環境問題と未来のエネルギーについてお話しします。



2-3 プログラムメニュー一覧

(1)小学生用プログラムメニュー

No.	プログラム名	学年	時間	場 所		対 象		備考	該当ページ
				いずみ	学校	クラス	学年		
1	環境って何?(環境問題入門)	1~6	45分	○	○	○	○		P9
2	ごみについて学ぼう!	3~6	45分	○	○	○	○		P10
3	生き物自然観察	1~4	90分	○	○	○	○	・実施場所は相談に応じて対応可 ・要補助員	P11
4	高麗川の虫たち	3~6	45分	○	○	○	○		P12
5	公害を知ろう!	5~6	45分	○	○	○	○		P13
6	バードウォッチング	3~6	45分	○	○	○	○		P14

(2)中学生用プログラムメニュー

No.	プログラム名	学年	時間	場 所		対 象		備考	該当ページ
				いずみ	学校	クラス	学年		
1	坂戸市の環境	1~3	50分	○	○	○	○		P15
2	ごみについて考えよう!	1~3	50分	○	○	○	○		P16
3	身近な公害 in 坂戸	1~3	50分	○	○	○	○		P17

(3)小・中学生共通プログラムメニュー

No.	プログラム名	学年	時間	場 所		対 象		備考	該当ページ
				いずみ	学校	クラス	学年		
1	牛乳パックdeはがき (リサイクルはがき作り)	小3~6 中1~3	60分	○	○	○		・要補助員	P18
2	犬や猫の正しい接し方	小1~6 中1~3	45分	○	○	○	○		P19

(4)施設見学メニュー

市内の環境関連施設の見学ができます。※申し込みは、直接見学を希望する施設へお願いします。

見学施設	時間	学年	時期	対象	内容
西清掃センター (TEL: 281-3575)	60分	小学校中・高学年 中学生	いつでも	1回の見学で 40人程度	・施設の説明、見学
石井水処理センター (TEL: 283-1101)	60分	小学校中・高学年 中学生	いつでも	クラス・学年	・施設の説明、見学 ※処理場内工事実施中のため事前の問い合わせをお願いします。
坂戸地区衛生組合 (TEL: 283-3561)	90分	小学校中・高学年 中学生	要相談	クラス	・し尿処理の現状と施設の説明 ・施設の見学

(5)外部講師派遣プログラムメニュー

講師を学校に派遣して行うプログラムです。※申し込みは、環境学館いずみへお願いします。

プログラム名	時間	学年	時期	対象	講師
体験しよう!クリーンエネルギー 「天然ガス」 ＝エネルギーと環境問題＝ 【天然ガスの基礎知識と-196℃ 冷熱実験】	45~ 90分	小学校中・高学 年 中学生	要相談	クラス・学年	坂戸ガス株式会社

※留意点

- 1 備考欄に「要補助員」と記載のあるプログラムは補助する人をお願いする場合があります。
- 2 対象人数で「クラス」は40人以内、「学年」は100人程度を目安とします。
人数については調整いたしますのでご相談ください。

2-4 小学校の関連教科及び単元に係る環境教育プログラム一覧

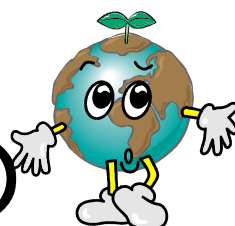
環境教育プログラムは、生活科・総合的な学習の時間だけではなく、理科や社会科の単元（教科書の内容）に合わせて活用いただけます。

学 年	教 科	単 元	プログラム名
1・2年	生活科	『なつとなかよし』 『生きもの大すき』 『あきとなかよし』 『ふゆとなかよし』 『新しいこといっぱい』 『みんな生きている』	・生き物自然観察
3年	理 科	『生き物をさがそう』 『チョウを育てよう』 『たねをまこう』 『こん虫のかんさつ』	・生き物自然観察 ・高麗川の虫たち
4年	理 科	『春の生き物』 『夏の生き物』 『秋の生き物』 『冬の生き物』 『生き物の1年間』	・生き物自然観察 ・高麗川の虫たち
	社会科	『ごみのしよりとさい利用』	・環境って何？ ・ごみについて学ぼう！
5年	社会科	『わたしたちの生活と環境』 （わたしたちの生活と森林） （環境を守るわたしたち）	・環境って何？ ・公害を知ろう！
6年	理 科	『生物どうしのつながり』 『自然とともに生きる』	・環境って何？ ・公害を知ろう！
	社会科	『世界の未来と日本の役割』 （環境問題の解決に向けて）	・環境って何？ ・公害を知ろう！
	家庭科	『クリーン大作戦』 『持続可能な社会を生きる』 （生活と環境のつながり） （環境のことを考えた生活）	・ごみについて学ぼう！

2-5 小学生用プログラムメニュー



環境って何？ (環境問題入門)





対象学年	1～6年	時間	45分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	環境政策課		
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年				
用意するもの	筆記用具				
ねらい	「環境」とはということなのかを、過去から未来、さらに身近なものから地球全体までの事について学習すると共に、ゼロカーボンシティの実現に向け、自分ができる取り組みについて考えます。				
進め方	<p>≪20～30分≫</p> <p>①パワーポイントによりクイズを織り交ぜながら、環境全般について広く学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境とは何か ・環境問題にはどのようなものがあるか ・環境問題の対策（自分たちにもできること） <p>◎具体的な環境の種類</p> <p>①地球温暖化 ②資源消費 ③省エネルギー ④ごみの発生</p> <p>⑤リサイクル ⑥大気 ⑦水質 ⑧動植物 など</p> <p>※地球温暖化を中心に、 環境問題全般について説明していきます。</p> <p>≪15分≫</p> <p>②環境に関するDVDを視聴し、学習します。</p>				
学校での教科に関連する単元(参考)	<p>4年生：社会科『ごみのしよりとさい利用』</p> <p>5年生：社会科『わたしたちの生活と環境』（わたしたちの生活と森林）、 （環境を守るわたしたち）</p> <p>6年生：理科『生き物どうしのつながり』、『自然とともに生きる』</p> <p>6年生：社会科『世界の未来と日本の役割』（環境問題の解決に向けて）</p>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				





ごみについて学ぼう!



対象学年	3～6年	時間	45分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	廃棄物対策課		
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年				
用意するもの	筆記用具				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> なぜごみを減らすのか、なぜ分別する必要があるのかを学びます。 ごみの減量や資源化をするために自分にどんなことができるかを一緒に考えます。 実際にごみの分別を体験し、ごみ問題を身近に感じてもらいます。 				
進め方	<p>■ ごみ・資源物の講話(約20分) 次の項目を中心とし、パワーポイント資料をプロジェクターで投影して説明します。 時折クイズを交えながら、楽しく学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂戸市内で発生するごみの量と内訳 ごみを少なくすること、資源を大切にすることの意味 坂戸市の分別区分及び処理の流れ 食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食品）について 自分たちに何ができるか考えよう  <p>■ ごみ・資源物の分別体験ゲーム(約20分) ごみ・資源物のサンプルを使用した分別の体験ゲームを行います。 最後に解説を含めた答え合わせを行い、分別の仕方や重要性を楽しく学びます。</p>  <p>※ 感染症対策が必要とされる間は、分別体験ゲームは実施せず、講話のみとなります。 ※ 内容は一部変更になることがありますので、御了承ください。 ※ 重点的に説明してほしい内容があれば御相談ください。</p>				
学校での教科に関連する単元(参考)	4年生：社会科『ごみのしよりとさい利用』 6年生：家庭科『クリーン大作戦』、『持続可能な社会を生きる』 （生活と環境のつながり）、（環境のことを考えた生活）				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台（分別体験を行う場合は更に3台）、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				



生き物自然観察



対象学年	1～4年	時間数	90分	時期	通年
実施場所	いずみ付近の河川敷 各学校敷地内または付近で自然観察 が可能な場所		担当課	環境学館いずみ	
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年				
用意するもの	筆記用具、野外活動用の服装 ※天候によっては、飲み物を用意されることをお勧めします。				
ねらい	実際に野外に出て自然を観察することにより、生き物への関心を深めます。 また、身近な自然の中にも多様な生き物が生息していることを、観察を通して学びます。				
進め方	<p>①自然観察の方法について説明します。 ②採集の方法について説明します。 ③班に分かれて実際に観察します。 ④採集した生き物を観察し、記録をとります。 ⑤観察が終わったら採集した生き物を逃がします。</p> <p>[具体例]</p> <p>野原の昆虫しらべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンシロチョウと他のチョウの見分け方。 ・テントウムシのなかまを調べます。 ・コオロギの見つけ方。 <p>川の生き物しらべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にすむ様々な生き物（魚やエビ、水生昆虫など）がどのような場所で見つかるか実際に調べてみます。 ・川辺で見られるトンボのなかまを調べます。 <p>田んぼの生き物しらべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カブトエビやホウネンエビなどの「生きている化石」を見ます。 ・アメリカザリガニやカエルなど田んぼで見られる様々な生き物を観察します。 ・イナゴやコオロギなど田んぼで見られる昆虫を調べます。 <p>※ 植物や草花などを観察するプログラムもできます。</p>				
学校での教科に関する単元(参考)	<p>1・2年生：生活科『なつとなかよし』、『生きもの大すき』、『あきとなかよし』、『ふゆとなかよし』、『新しいこといっぱい』、『みんな生きている』</p> <p>3年生：理科『生き物をさがそう』、『チョウを育てよう』、『たねをまこう』、『こん虫のかんさつ』</p> <p>4年生：理科『春の生き物』、『夏の生き物』、『秋の生き物』、『冬の生き物』、『生き物の1年間』</p>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて補助員が必要となります。（クラス単位で3～4名程度） ・雨天の場合は、中止となります。 				



高麗川の虫たち



対象学年	3～6年	時間	45分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	環境学館いずみ		
対象人数	クラス単位・学年				
用意するもの	筆記用具				
ねらい	身近な自然（市内高麗川）の中にも、さまざまな生き物が生息していることを、スライドを見ながら学びます。				
進め方	<p>四季を通じて高麗川で観察できる昆虫を、蝶やトンボを中心にスライドで紹介します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>				
学校での教科に関する単元(参考)	<p>3年生：理科『生き物をさがそう』、『チョウを育てよう』、『たねをまこう』、『こん虫のかんさつ』</p> <p>4年生：理科『春の生き物』、『夏の生き物』、『秋の生き物』、『冬の生き物』、『生き物の1年間』</p>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				



公害を知ろう！





対象学年	5～6年	時間数	45分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校		担当課	環境政策課	
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年				
用意するもの	筆記用具				
ねらい	「大気汚染」や「水質汚濁」、「騒音」などの公害について学習し、自分達ができる環境保全対策を考えます。				
進め方	<p>①パワーポイントにより、クイズを織り交ぜながら公害について学びます。 【公害の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染（光化学スモッグ、PM2.5等） ・水質汚濁（河川の水質等） ・騒音、振動 ・土壌汚染 ・地盤沈下 ・悪臭 <p>※大気汚染、騒音に焦点を絞って学びます。</p> <p>②市内で行っている環境調査結果を基に坂戸市の現状を学びます。</p> <p>③騒音計等の実施を用いた体験学習をします。</p> <p>④自分達ができる環境保全対策を考えます。</p>				
学校での教科に関連する単元(参考)	<p>5年生：社会科『わたしたちの生活と環境』（わたしたちの生活と森林）、（環境を守るわたしたち）</p> <p>6年生：理科『生き物どうしのつながり』、『自然とともに生きる』</p> <p>6年生：社会科『世界の未来と日本の役割』（環境問題の解決に向けて）</p>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				





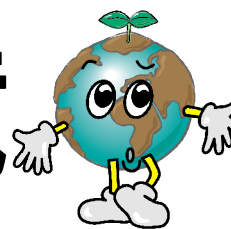
バードウォッチング

対象学年	3年以上	時間数	45～90分	時期	通年
実施場所	いずみ付近の河川敷、または、各小学校の周囲 室内も可能		担当課	環境学館いずみ	
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年 またはクラブ				
用意するもの	持っている児童は双眼鏡（いずみ貸出可）・筆記用具				
ねらい	野鳥観察を通して、身近な自然に関心を持つことで、坂戸市の自然の豊かさを知り身近に多様な生き物が生息していることに気付くとともに、観察する楽しさを学びます。				
進め方	<p>①野鳥トランプを使って、見たことがある野鳥を教え合う。 ②野鳥がどのような場所で生活しているかを知る。 ③野鳥の探し方を考える。 *サイトの野鳥の声を聞く *カラス、ハト、スズメの大きさを確認する。 ③室内で双眼鏡の使い方の練習 ④野外で野鳥観察 *観察できる野鳥 ムクドリ、ヒヨドリ、キジバト、ハシブトガラス、シジュウカラ、スズメなど 季節の野鳥 春夏：ツバメ、冬：ツグミ、ジョウビタキ ⑤観察した野鳥をカードにまとめる。 45分は③まで 90分④野外観察まで 雨天時は③まで室内で可。延期も可</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>メジロ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ムクドリ</p> </div> </div>				
学校での教科に関連する単元(参考)	3年	理科	「生き物を調べよう」		
	4年	理科	「春の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」・生き物の一年間」		
	6年	理科	「生き物どうしのつながり」「自然とともに生きる」		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				

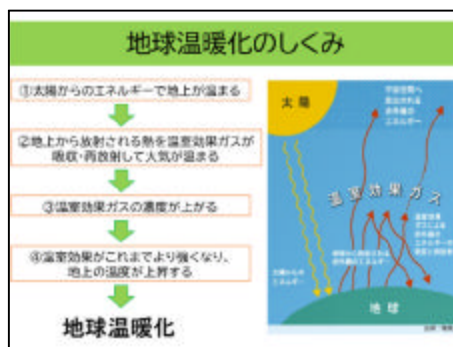
2-6 中学生用プログラムメニュー



坂戸市の環境



時間	50分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	環境政策課
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年		
用意するもの	筆記用具		
ねらい	坂戸市の環境について体系的に整理し、現在の状況や施策等について、環境基本計画を基に講義を行います。また、ゼロカーボンシティの実現に向け、自分のできる取り組みについて考えます。		
進め方	<p>パワーポイントを使って、「坂戸市の環境」について学びます。</p> <p>①SDGsの概要について（3分程度）</p> <p>②坂戸市の環境の状況、施策や対策などについて</p> <p>地球環境……地球温暖化、廃棄物等（30分程度）</p> <p>自然環境……動植物、水辺環境、緑の保全等</p> <p>生活環境……各種公害（水質、大気、騒音、振動等）</p> <p>快適環境……公園、緑、環境美化等</p> <p>参加・学習…環境学習、市民参加等</p> <p>（15分程度）</p> <p>※SDGsと関連づけるとともに、地球温暖化を中心に説明していきます。</p>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 		





ごみについて考えよう



時 間	50分	時 期	通 年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	廃棄物対策課
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年		
用意するもの	筆記用具		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜごみを減らすのか、なぜ分別する必要があるのかを学びます。 ・ごみの減量や資源化をするために自分にどんなことができるかを一緒に考えます。 		
進め方	<p>パワーポイントを使って、「ごみ・資源物の講話」を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸市内で発生するごみの量と内訳 ・ごみを少なくすること、資源を大切にすることの意味 ・坂戸市の分別区分及び処理の流れ ・ごみ処理に係る経費について ・食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食品）について ・4Rについて ・ごみの排出者・処理者それぞれの役割について ・坂戸市のごみ減量、資源化の取組 ・地域での様々な取組について <p><オプション></p> <p>ごみ問題等を身近に感じてもらうための体験型プログラムとして、「ごみ・資源物の分別体験」の実施が可能です。最後に解説を含めた答え合わせを行い、分別の仕方やその重要性を学びます。ニーズに合わせてお申し込みください。</p> <p>※ 感染症対策が必要とされる間は、オプションの分別体験は実施せず、講話のみとなります。</p> <p>※ 内容は一部変更になることがありますので、御了承ください。</p> <p>※ 重点的に説明してほしい内容があれば御相談ください。</p>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台（分別体験を行う場合は更に3台）、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 		



身近な公害 in 坂戸



時 間	50分	時 期	通 年
実施場所	環境学館いずみ・学校	担当課	環境政策課
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年		
用意するもの	筆記用具		
ねらい	「大気汚染」や「水質汚濁」、「騒音」などの公害について学び、自分達ができる環境保全対策を考えます。		
進め方	<p>①パワーポイントにより、クイズを織り交ぜながら、公害について一般的な知識を学びます。</p> <p>【公害の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染（光化学スモッグ、PM2.5 等） ・水質汚濁（河川水質 等） ・騒音 ・振動 ・土壌汚染 ・地盤沈下 ・悪臭 <p>※それぞれの公害において、「〇〇について学びたい」という具体的な要望があれば事前に御相談ください。</p> <p>②市内で行っている環境調査結果を基に坂戸市の現状を学びます。</p> <p>③これまでの学習をふまえて、自分達ができる環境保全対策を考えます。</p>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 		





牛乳パック de はがき (リサイクルはがき作り)

対象学年	小学3～6年 中学生	時間数	60分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校 (中学校は機材一式貸出可)	担当課	環境学館いずみ		
対象人数	クラス単位(40人以内)				
用意するもの	<p>先生：そうきん 児童：牛乳パック(学校での事前準備参照)、硬い下敷き、 ※模様付き紙・葉や花びらを飾るとオシャレなはがきができます。 <注意>葉や花びらはそのままでは使えません。押し花を作る要領で広げておきます。模様付き紙は適当なサイズに切っておきます。</p>				
ねらい	<p>使い終わったものでも工夫次第で、有効な材料として再利用できることを学び、資源を有効に使うためにも「物を最後まで使う」「使い終わったらリサイクルする」ことの大切さを考えます。</p>				
進め方	<p>(学校での事前準備) ①牛乳パックを良く洗い、きれいに切り開きます。 ②30分程度煮て冷まします。(10日程度水につけるだけでもよい。) ③裏と表のビニールをはがし、小さくちぎります。(爪の大きさ程度) <注意> ビニールが残っていたり、牛乳パックが細かくちぎれていないと作業ができません。</p> <p>①テキストにより「作り方」や「リサイクル」、「緑の大切さ」について説明します。 ②ちぎった牛乳パック[学校給食用パックで2個分]、水[ミキサー容器7分目程度]、洗濯のり[大さじ5杯]をミキサーに入れ、2分間かくはんします。 ③容器にあらかじめ水を入れ、②を流し込みます。 ④紙すき枠を底まで静かに入れ、ゆっくりと上げます。 ⑤水から上げて、枠をはずし、板と網ではさんで水を絞り出します。 ⑥板と網を外し吸水マットに載せて水分を吸い取ります。 ⑦手ぬぐいの上に置き、アイロンをあてて、ある程度乾いたら硬い下敷きの上に乗せ、自然乾燥して出来上がりです。 ※目安は1人2枚となります。 ※完成後は1～2日、日陰で乾燥させた後、押し花をするときのように上に重しを乗せて1～2日乾燥させてください。</p>				
学校での教科に関連する単元(参考)	4年生：社会科「ごみのしよりとさい利用」				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、理科室または調理室で行います。 ・小学校の場合は補助員が必要となります。(クラス単位で3～4名程度) ・牛乳パックの両面のビニールをしっかりとはがしてください ・貸出の場合、ミキサーの取り扱いに十分注意してください。 				





犬や猫の正しい接し方



対象学年	1～6年 中学生	時間数	45分	時期	通年
実施場所	環境学館いずみ・学校		担当課	環境政策課	
対象人数	クラス単位（40人以内）・学年				
用意するもの	筆記用具				
ねらい	犬や猫の正しい飼い方や生活環境への影響について学習し、犬や猫への適切な接し方を身に付けてもらいます。				
進め方	<p>彩の国動物愛護推進員（坂戸市いきものがかり）を講師として招きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①正しい犬の飼い方 ②正しい猫の飼い方 ③正しいのら猫への接し方 <ul style="list-style-type: none"> ・のら猫へのエサやり ・TNR 活動 ・地域猫活動 <div style="text-align: center;"> <p>TNRとは 捕獲して Trap ▶ 不妊手術をし Neuter ▶ 元の場所に戻す Return <small>©公益財団法人どうぶつ基金</small></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う場合は、暗幕と電源が取れる教室の準備及び長机2台、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの用意をお願いします。 				

3 環境関連情報



3-1 環境学館いずみの概要

1 名称(由来)

- ◆学習の場として知識が泉のようにあふれるイメージと所在が泉町であることから決定（市民からの公募）。

2 建物の特徴

- ◆太陽光発電システム
最大発電電力・・・10kWh 南側屋根に 84 枚設置（シャープ製）
用 途・・・空調、雨水貯水タンクくみ上げポンプに利用（200V）
余剰電力・・・東京電力へ売電
- ◆雨水再利用システム
貯水タンク・・・20 m³
用 途・・・トイレ洗浄水、散水
- ◆古民家の建築材料の活用
利用場所・・・展示室（梁・柱）
- ◆再生レンガの活用
再 生 物・・・下水汚泥再生レンガ
利用場所・・・ホール、情報コーナーの床
使用面積・・・103 m²（約 6,900 個）



3 施設の運営

市民参加の運営を目指し、市民から募ったいずみ運営ボランティアを中心に運営を行っています。

- ◆環境ボランティア活動内容・・・いずみで行う各種講座、イベント、環境教育プログラムなどの企画、運営及び講師、補助などに活躍しています。

4 展示

展示室において環境に関するパネル等を常設展示しています。坂戸に生息する魚、鳥、昆虫等（生体・写真）、ごみ減量・リサイクル、再生可能エネルギー、生ごみ処理器、高麗川の源流など

5 情報コーナー

環境に関する情報提供を行うために設置しています。

- ◆図 書 蔵書数 約 600 冊（貸出し期間2週間）



6 講座

自然環境、ごみ減量・リサイクル、再生可能エネルギーなど環境に関する各種講座や実習などを開催しています。

◆講座内容(令和5年度)

講座名	内 容	開催回数 (予定)	定員 (1回)
廃食油リサイクル 粉石けん作り	廃食油で作るリサイクル粉石けんの作り方	年6回	5人
理科教室	実験を通して毎月テーマを変えた環境問題を学ぶ	年9回	16人
自由研究教室	夏休みの自由研究のヒント	年2回	16人
パック de セッケン	牛乳パックを使った廃食油リサイクル固形石けん作り	毎月1回	15人
布ぞうり教室	古布を裂いて作る布ぞうり	年1回	15人
自然観察教室	高麗川にすむ生き物の採集と観察	年4回	20人
自然工作	自然素材を使ったネイチャークラフト	年2回	16人
裂き織り体験	織機で、裂いた古布を織り作品に仕上げる	年2回	8人
いずみ自然塾	毎月テーマを変えて、清流高麗川や城山などを観察し、さまざまな自然の魅力を発見します。	年12回	20人
えひめA1-2を作ろう	身近な食品から環境浄化に役立つ微生物を作り、活用方法を学びます。	毎月1回	10人
ハニーウォーク	蜜源を散策しながら生き物と私たちの暮らしの関わりを考える。	年1回	20人
教えてミツバチ先生	ミツバチの生態を学ぶ。	年1回	20人
生活環境講座	環境問題について考える。	年2回	16人

7 イベント

環境問題を多くの人に関心を持ってもらうためのイベントをボランティアスタッフが主体となって開催しています。

◆いずみ DAY～環境のことを考えよう～

開催予定日・・・6月18日(日)

内容・・・使用サイクルの短い子ども用品を中心としたフリーマーケット、体験コーナー(自然素材の工作など)、花のフリーマーケット、リサイクル家具展示販売

◆環境楽習まつり(主催:NPO法人環境楽習サイエンス)

開催予定日・・・令和5年8月5日(土)

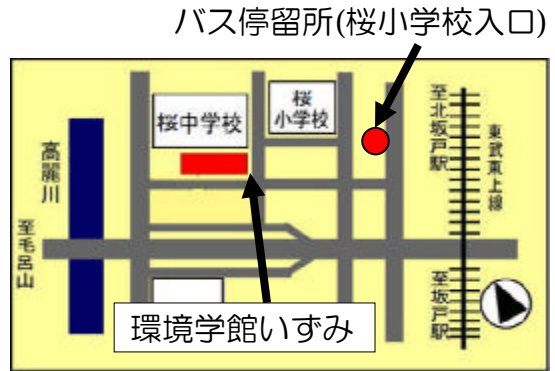
内容・・・4種類の工作体験教室、顕微鏡観察、自然のおもちゃ遊び、折り紙

8 古本市

4R推進運動（リユース：再利用・再使用）の一環として、家庭で不要となった本を必要とする人に提供する場を設けています。

◆開催予定日・・・9月30日（土）

問合せ先
〒350-0231 坂戸市泉町三丁目 25 番地 1
坂戸市環境学館いずみ
TEL・FAX 049-284-7115
開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分
休館日：月曜日、祝日及び年末年始(12/29～1/3)



3-2 こどもエコクラブについて

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子どもたちが行う環境学習や環境保全活動を支援することにより、人間と環境との関わりについて幅広い理解を深め、環境を大切に思う心を育成し、もって、環境に対する人間の責任と役割を理解し、その環境保全に参加する態度及び環境問題解決に資する能力を育成することを目的としています。

「こどもエコクラブ」は、平成7年度から環境省の事業として開始し、実施しているもので、地域における子供たちの自主的な環境活動や実践活動を支援するものです。

こどもエコクラブってなに？

「こどもエコクラブ」は、小・中学生なら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

活動の期間は？

毎年4月からの1年間ですが、年の途中でも参加できます。

クラブではどんなことをするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動など、地域の中で身近にできる地球にやさしい活動に自由に取り組みます。

申込はどこにすれば良いの？

環境学館いずみにお問い合わせください。（TEL：284-7115）

環境学館いずみのエコクラブ「アースフレンズ」に加入したい場合は、いずみへお問い合わせください。



いずみエコクラブ「アースフレンズ」

クラブを作りたい、参加したい時は？

ひとつのクラブは、「一緒に活動をする仲間」と「活動を支える大人（サポーター）」で作ります。

構成形態は様々で、学校のクラスやクラブ、近所の友達同士、兄弟姉妹などでも作れます。

また、一人だけでも参加ができるように「坂戸市環境学館いずみ」にこどもエコクラブ（アースフレンズ）があります。

会費はかかるの？

登録料、年会費等の費用はかかりません。

※その他の詳しい内容は：

公益財団法人日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル5階

電話：03-5829-6359 FAX：03-5829-6190

メールアドレス：j-ecoclub@jeas.or.jp



(様式1)

FAX: 284-7115

Mail: sakado44@city.sakado.lg.jp

坂戸市環境教育プログラム申込書


年 月 日

坂戸市環境学館いずみ館長 あて

_____ 学校長 _____

下記のとおり、環境教育プログラムによる環境教育を実施したいので申し込みます。

記

プログラム名			
実施日時	年 月 日・午 時 分～午 時 分(分間)		
学年	年 組(人)	教科	
担任教諭 (責任者)		補助員数	人
実施場所 (該当するものに○)	環境学館いずみ 学校 その他 _____  いずみへの交通手段 ア 徒歩 イ バスを希望(配車場所: _____)		
児童生徒へ教 えてほしい 具体的な内容	※資料があれば一緒に付けてください。		
その他	プログラム実施にあたっての留意点・要望事項等		

(様式2)

FAX: 284-7115

Mail: sakado44@city.sakado.lg.jp

坂戸市環境教育プログラム実施報告書

年 月 日

坂戸市環境学館いずみ館長 あて

坂戸市教育委員会 学校教育課長 あて

学校長

環境教育プログラムによる環境教育を実施したので報告します。

記

プログラム名			
実施日時	年 月 日・午	時 分～午	時 分(分間)
学 年	年 組 (人)		
担任教諭 (責任者)		補助員数	人
効果・評価	(児童生徒の反応・理解度・効果等を記載してください)		
改善・要望	(プログラムをより良くするために気付いた点を記載してください)		



坂戸市環境教育プログラム (令和5年度版)

- ◆発行日／令和5年3月
- ◆発行・編集／坂戸市 環境産業部 環境学館いずみ
坂戸市 教育委員会 学校教育課
〒350-0292 坂戸市泉町3-25-1
TEL : 049-284-7115
FAX : 049-284-7115
URL : <https://www.city.sakado.lg.jp>

この冊子は資源の有効利用のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。